

第3学年通信 No.16 (生徒の皆さん & 保護者の皆さまへ)

宮城県泉松陵高等学校33回生
2015/11/27 発行

http://www.shoryo.myswan.
文責 平山 元春

受験は団体戦

センター試験まであと50日

9月マーク模試 各教科からのアドバイス

もう復習は済んでいるかと思いますが、もう一度解き直してみましょう。問題残部は学習室前に置いてあります(早い者勝ち、進研模試受験者でなくても構いません)。また、デジタルサービスだけでなく、紙でも復習しましょう。

①国語

評論は漢字の正答率が低く、年度当初から取り組んできたものの、全体としては語彙力不足が未だ解消されていないことが伺える。これから、小論文試験や一般入試を控えた受験生は、語彙力の充実を心がけたい。

また、筆者の主張の理由を問う設問の正答率が芳しくなかった。最も論理的な部分の設問だけに、日常さまざまな出来事の根拠や原因の仮説を立てる練習(思考回路)をしよう。小論文試験や面接試験のためにも役立つはずである。

②数学

40点以下の人:

導入問題をまず正解できるようにすること。全くひねってないので基本的なことが分かっていれば解けるはず。教科書の公式にあてはめるだけ。あっ、それから文字式の計算は大丈夫?手を動かすこと。

A (あたりまえのことを) B (バカにせず) C (ちゃんとやろう)

40点以上の人:

基本、受験勉強は丸暗記。数学も例外ではない。知識量を増やすためにも代表的な問題の暗記をお勧めする。その際、1から取り組むのは時間の無駄なので、模範解答を眺め、その再現を試すこと。意味が分からなくなったら大丈夫、とりあえず丸暗記。解き方だけをひたすら暗記。ある程度、暗記量がたまったら参考書を眺めてみよう。点だった知識が体系的に繋がってきます。この場合は、こうするみたいに対処法をスポーツのごとく体で覚えましょう。

③英語 (筆記)

第1問の発音・アクセントの問題の形式は、コミュ英のワークブックと同形式であり、センター試験でも出題される。授業でしっかり発音し、覚えることが大事である。

第2問の文法・語彙語法・語句整序の問題は、英表のテキスト、DUAL SCOPE 総合英語を音読し、問題(総合演習も)を解いて覚えること。応答文完成問題では、前後の内容を類推することで正解は上がる。もちろん、文法・語彙語法の習熟がベースとなる。

第3問の会話・不要文指摘・発言要約の問題は、英文の精読が出来なければ得点は望めない。内容把握のためには、話の流れや前後のつながりなど、パラグラフ全体の論理展開を正しく推し進めていくことが肝要である。

第4問のデータ読み取り問題は、各パラグラフの要旨を掴み、グラフを参照しながら、設問に該当する部分を見つけられるかが鍵となる。

第5問の陳述読解問題は、各パラグラフの内容を押さえながら、語の類推をする。質問文の意味を正しく押さえることはもちろんのことです。

第6問のパラグラフの内容を問う問題では、その要旨を考え、それに対応する選択肢を探すと手順が効率的である。文章全体の中に出てくる各パラグラフの役割を示す語も手掛かりとなるので参照すること。

④英語 (リスニング)

センター試験のリスニングでもそうであるが、「話題」・「要件」は何であるかを聞きとることが重要である。それはたいてい始まりにある。最初の部分をしっかり聞きとるが大事である。そのあとは、キーワードを押さえれば正答を得やすくなるはずである。

授業でのリスニングに集中すること。そして数多くの問題に接することで得点は上がる。

⑤物理基礎

【分析総評】

今までの模試と比べて正解率の高い問題が見られるようになってきました。少しずつ力を付けてきている人が増えてきたようです。さらに得点の伸ばすべく頑張ってください。

【アドバイス】

第1問の間2, 問3, 第2問の間2, 第3問の間2, 問4はやや難しい問題なので出来なくても気にしなくて結構です。それ以外は基本問題です。出来るようにしたいものです。コツコツと基本問題の練習をやりましょう。 ※注 波線部は朱書

⑥物理

【分析総評】

松陵生は、各大問とも第1問, 第2問という基本問題の回答率が高くなってきました。一般的傾向に近づいてきていますが、まだ正解率では全国平均から離れています。基本問題の演習をしっかりとやり実力を養成してほしい。

【アドバイス】

第1問の間3, 第4問の間3, 問5, 第5問の間1, 問2, 問4は難問なので出来なくても気にしなくて結構です。それ以外の問題がどれだけできるかが勝負ということになります。一見難しそうに見えてもそう難しくない問題もあります。基本が身につけていると解答の糸口は見えてくるものです。問題演習で基礎力を高めよう。

⑦化学基礎

第1問は問1から問5まで基本的な問題でした。点数を取りに行きましょう。問5はグラフから数値を読み取る問題です。教科書にも載っているグラフですので復習しましょう。問6はやや難易度の高い問題です。問7は確実に取ってほしい知識問題です。

第2問は、問3がよくできていました。しかし次の問4は難易度が高く、正解率は低いです。ここはできなくても、その前の問2で点数を取ってほしいところです。

一筋縄ではいかない問題も多くなってきました。特に松陵生は計算問題を回避したがる傾向にあるようです。最初のうちはできなくても、繰り返しワークなどで問題演習を重ねると、確実に点数をとれるようになります。継続は力なりです。しっかりと復習しましょう。

⑧化学

過去五年と比較して最低の厳しい結果でした。今回、「有機」の分野を未学習での受験であることを考慮しても、全国平均と比べて23点ほど低い結果です。

マーク模試は、基礎・基本の問題をしっかりと解くことができるかが重要です。今回の模試もそれほど多くの応用問題が出題されているわけではありません。ほとんどは基礎・基本問題です。まずは、有機以外の以下の問題ができるようになって下さい。

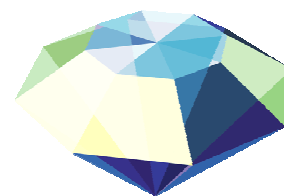
第1問②③⑥、第2問①③、第3問③⑤ これらはいずれも基礎・基本問題であるにもかかわらず、特に正答率の悪かった問題です。これらの問題ができるようになれば全国平均になります。頑張ってください。

⑨生物基礎

第1問 生物の特徴と遺伝子の問題について、基本的な事項に関する内容です。3番については問題をよく読むと解答はみえてくるはず。

第2問 体内環境についての問題です。この問題の正答率が上がるとよいと思います。全体的な概要を問題とされていますので、教科書をよく読みさらに内容の理解に努めましょう。

第3問 生物の多様性と生態系の問題です。全体的に正答率が低い結果でした。手持ちの資料集に図説付きでわかりやすく解説されていますので、よく読んでもう一度復習すると解ける問題はたくさんあると思います。



(裏にも続きます)

⑩生物

第1問 A：呼吸に関する知識問題。細かいけれど、ここで得点がほしい。細部まで覚えよう。
B：かなり難しい実験考察問題。次の問題に進み、時間が余ったら挑戦しよう。

第2問 A：ウニの発生に関するかなり易しい問題。ここは2問とも確実に正解しよう。
B：カエルの発生の知識を活用する実験考察問題。頻出パターンなので、要復習。

第3問 A：被子植物の配偶子形成と重複受精に関する基本問題。
B：A B Cモデルに関する基本問題。

第4問 A：心臓拍動の調節と骨格筋の収縮に関する知識問題。
B：アメフラシの慣れに関する実験考察問題。実際は教科書記載の知識問題。

ここで点を
取りたい。

第5問 A：光周性に関する問題。前半の知識問題で得点しよう。
B：気孔の開閉に関する問題。前半の知識問題で得点しよう。

第6問 苦手な人の多い、遺伝子の発現調節に関する問題。実は難しくないので嫌がらずに解こう。

⑪地学基礎

・第1問：地球の内部構造

問1のa：2層に区分する事ができ→核，b：厚さが最も薄く→地殻，易しい問題です。問2は，ケイ酸塩鉱物，縞状鉄鉱層から考えると，解ける問題です。問3は，アセノスフェアが流動性を持ち，リソスフェアがプレートであると分かっていたら楽勝です。問4は，急冷されたら，斑状組織となることがわかっていたら，楽勝です。問5は，難易度が最高の問題です。授業での解説をしっかりと聞きましょう。問6は，SiO₂の含有量によって，苦鉄質岩→中間質岩→ケイ長質岩となることをつかんでいけば，大丈夫でした。普段から，語彙力を身につけるように意識して勉強しましょう。

・第2問：古生物の変遷

問1・問2は，易しい問題です。古生代前期の様子分かっているかを試す問題でした。手順に沿って，きちんと整理して解きましょう。問3は，シルル紀の出来事が分かれば楽勝でした。問4は，分かりづらいようでも，作図すると簡単に解けます。最初からあきらめずに，冷静になって計算しましょう。問5は常識問題です。グラフを見て，緯度の把握がしっかりできていけば，楽勝でした。問6は，貿易風と偏西風にしくみがきちんと理解できていけば，易しい問題でした。

・第3問：太陽と恒星

問1は，①～④の現象が何を指すのかを理解できていけば，易しい問題です。問2は，教科書・ワークで解いた問題です。冷静にきちんと計算しましょう。問3は，恒星の進化が分かっていたら，合格です。

◎総評として：全体的に，もう少し解けていても良かったと思います。繰り返しになりますが，もう少しイメージをつくって解くことと，冷静に，かつ，正確に読み解くことを大切にして勉強すれば，もっと高得点に近づきます。日常の生活の中で，物事をきちんと見つめるスタイルを身につけよう。

⑫世界史B

今回の模試では，第1問～第3問までの必修問題が全て既習問題であったため，比較的取り組みやすかったのではないかと思われる。ただ，第4問の後半および第5問は未習分野であったため，特に第5問を選択した者は正答を導き出すのが困難であったはずだ。

問題を概観すれば，全般的にマーク模試にありがちな複合問題が多く出題されていた。「古代」の問題を解いていたはずが，その後は突然「現代」の問題に移行することもあるため戸惑いが大きいとは思いますが，そろそろこの形式にも慣れておこう。

また，一般に世界史の学習は「西洋史」及び「東洋史（中国史）」に偏りがちになる傾向があるのだが，近年はそれ以外の地域が出題されることも増えてきている。例えば，アフリカ・東南アジアを中心にした問題が増加しており，今回で言えば第3問の問5，問8などは典型的な問題なので注意しよう。

ただし，結果から見れば，第3問は本校生徒の得点率が最も高かった問題である。一方，全国・宮城県平均が最も高かったのは第1問であるが，本校生徒においては最も低いという結果になったのは残念だ。第1問は，主に「世界史上の発見」に関わる問題であるが，古代から近代まで万遍なく出題されている。問4などは文化史をしっかりと学習していないと解けない問題である。文化史に関してはメインの問題としての出題されることは稀ではあるが，近年は特に地域史に絡めて出題されることが多くなっている。時代・地域毎に「誰がどんな業績を残したのか」ということについて，もう一度確認しておこう。

⑬日本史B

I 概評 まだまだできる！

II 松陵生の得意分野 よくやった！

(1)設問番号 17 第3問の問2
修学旅行で見えてきたかがありましたね。甲は東大寺南大門（鎌倉文化）。p118 写真LOOK！重源の南都復興事業関連についてはセンターでも頻出です。また，東大寺の焼失（2回）と，再建事業の時期・関係人物については必ず確認しておいてください。資料集 p175 の 2
乙の写真は何回も見ましたね。空也像です。空也の宗派と別名，そしてこの作品の作者と製作時期（何文化か）も確認してください。p74

(2)設問番号 24 第4問の問2 これは簡単ではないが，松陵生はよくできた！
①誤文。『日本史』を書いたのはルイス＝フロイス（『日本史』は教科書に記載はない）。ルイス＝フロイスは p158 ②，「信長は気性が激しくやせ形で声が高い」等と記されている，信長を知ることができる一級品の史料。
②誤文。堺の状況を報告したのはガスパル＝ヴィレラ，p151 史料。
③正文。169. ヴァリニャーニときたら，金属製活字 p169 と天正遣欧使節 p158 を忘れないこと。
④誤文。宣教師養成学校はコレジオ，神学校はセミナリオという。南蛮寺は教会のこと。p158

III 松陵生の苦手分野 がんばろう！

(1)設問番号 27 第4問の問5

ウ
エ

 アイヌとの交易独占権を保障されていたのは「松前氏」，これはできているが，次の工藤平助の著書名が『赤蝦夷風説考』（田沼意次も読んだ本。「赤蝦夷」とはロシアのこと）p224・226 であることがわかっていない。間違っても『海国兵談』を選んだ人多し！『海国兵談』は林子平の著書で，寛政の改革で弾圧されたものとして有名。授業中に史料も読んだはず！ p234 史料「海防論」LOOK。全国区で戦うためには，工藤平助と林子平の区別をきちんとしましょう。

(2)設問番号 11 第2問の問3
律令体制の基本を問う設問。さすがに雑徭と公出挙の区別はできているようだが，防人と衛士の区別ができていない。p43～44。Yの「宮城の警備に1年間従事」で，衛士と判断してほしい。防人は大宰府に属し，3年間九州沿岸を警備するもの。p44 ①。全国区で戦うためには，衛士と防人の区別をきちんとしましょう。

現役生はまだまだ伸びる。決してあきらめないこと！

⑭政治・経済

第1問は地方自治，労働問題，社会保障，戦後日本の政治史に関する出題であった。授業では，政治・経済の内容を1年間で消化しなければならないために，センター形式の模試で出題される深度の範囲を扱うことは不可能である。したがって，教科書の記述の細かいところまで，また資料集を読み込んでおくといった学習が得点するためには必要になる。センター試験型は選択問題なので，消去法で解答することができる。4つの選択肢のうち，1つ消せるか，2つ消せるかという正解の精度を上げるためには，政治・経済に対する広く深い内容の理解が必要となる。

第2問は経済分野からの出題であり，授業が追いついていない範囲であるので解答するのは困難であったと思われる。第3問は政治分野からの出題で，この範囲は前期の授業で扱った範囲であり，日本国憲法の立法と行政に関する出題であった。正確な知識・理解が求められる問題で，憲法の条文に一通り目を通し，正しく覚えていなければ解けない。

第4問の経済分野，第5問の世界経済からの出題も，授業がまだ到達していない範囲であった。